

シュミットハンマー



概要

シュミットハンマーは、実施コンクリートの圧縮強度を現場で非破壊的に測定するものです。

軽便にして取り扱い容易、迅速しかも十分に信頼しえる精度をもって測定できる機能の優秀性と実用性は高く評価されています。

精密工業の国スイスで作られており、欧州は勿論、米国に於いても広く使用されており、わが国に於いても関係省庁、土建業者、電力会社、設計監督事務所、セメント二次製品工場等で定評を得ております。

特長

- ◆ 任意の個所に直接ハンマーを当てて測定値を出すことができるものであって、極めて簡単、且つ迅速に構造物全体について精度の高い測定結果が得られる。
- ◆ コンクリートを破壊することがないため、コンクリートの経年変化を調べることができ、品質管理に最適である。
- ◆ 反撥硬度(弾性的な跳ね返り)を予め作成されているグラフで読めば標準偏差 $28\text{kg}/\text{cm}^2$ 以内の偏差範囲でコンクリートの圧縮強度を判定できる。
- ◆ コンクリート構造物は圧縮強度より表面硬度が重視される場合があるが、例えば耐摩耗性(道路等)、耐水蝕性(水中・土中建物)、又は耐風化性等に関する表面硬度がシュミットハンマーによれば確実に測定できる。